

JRは利用者の利便性を守れ!!

国労ちば

国鉄労働組合
千葉地方本部
発責 櫻尾 智浩
編集 安田 正浩
【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043(238)5963
FAX 043(238)5967

国労は
多くの絆で
仲間を守る

亀戸駅東口・両国駅東口の無人化反対！ 浅草橋駅の「みどりの窓口」廃止反対！

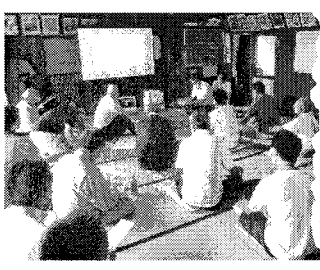
8月27日、国労千葉地本は浅草橋駅と両国駅で駅頭宣伝を行った。これはJR千葉支社が進めようとする亀戸駅東口と両国駅東口の無人化、浅草橋駅「みどりの窓口」の廃止という合理化施策をJR利用者や地域住民に広く知っていただき、合理化施策の撤回を求めていく行動の一環として取り組まれた。

8月27日、国労千葉地本は浅草橋駅と両国駅で駅頭宣伝を行った。これはJR千葉支社が進めようとする亀戸駅東口と両国駅東口の無人化、浅草橋駅「みどりの窓口」の廃止という合理化施策をJR利用者や地域住民に広く知っていただき、合理化施策の撤回を求めていく行動の一環として取り組まれた。



8月22日、鶴原まちづくりの会主催の集会所で開催され、地本と関係分会も参加した。「JR外房線の現状と課題」「安全性の確保」と題され、照川勝浦市議の進行で進められた。主催者の照川まちづくりの会会長は「先日、JR江見駅の視察を行った。郵便局と一体に営業すること。鶴原駅と比較して、立地条件も含めて同様だ。まちづくりの会として、鶴原地区を何とかしたい。今回は、外房線の

鶴原で地域の方と意見交換



現状と課題を国労から伺い交流出来ればと思う」とあいさつされた。国労千葉地本の櫻尾執行委員長は「公共交通を守り誰もが便利に安心して鉄道を利用出来るよう労働組合として活動していきたい。JRはワンマン運転や

委託駅、無人駅を進めている。そうならないように皆さんと運動を進めていければと思う。率直なご意見を賜りたい」とあいさつした。

加藤書記長はJRの合理化の実態をスライドを使って説明。昨年10月の久留里線や12月の東北本線のワンマン運転の視察を報告。車内の様子や精算の仕方、ホームの乗り降りの視認性の問題、安全やサーブिसを考えると社員の配置を会社に要望していきたいと結んだ。

参加者から「外房線は廃止になるのではと不安」「ワンマン運転は危険とかの内輪の話

ばかり。私たちは鶴原の町をどうするかの話だ。向いている方向が違う」「ワンマン運転で犯罪が起きたら、運転士一人で対応出来るわけない。誰もいないとモラルは低下する」「ワンマン運転にならないように提案を出して」「鶴原駅は寂しいものだ。乗る人がいない。問題は駅の利用客をどう増やすかだ」「鶴原を守る為に何でもやる」「鶴原だけでなく、各自自治体に要請して頂きたい」「鶴原駅と郵便局は私達の宝だ。無くさないで欲しい」と質問や疑問が出され回答し、終了した。

【優】

昨年9月1日付でエルダーとなり、JR東日本高栗サーブिसのシャポー本八幡保安警備室に勤務し、早いもので1年が経過した。41年間の保線関係職場（2年間三島光産出向）しか知らない中で、経験したことのない保安警備に、慣れるまでは精神的・肉体的に疲れた。2ヵ月余りで7kg程痩せたが、職場の先輩たちに支えられてきた。3月からコロナ感染拡大防止策で、同じ人と泊まり勤務を組むパターンが半年以上続いている。しかし、1日の勤務者は泊まりが2名、長日勤が1名で、朝の点呼時は6名が8畳程の部屋に集まり、一定の間隔（2m）が取れない。寝室は4畳半程で2段ベッドが左右に2組あり、早寝と遅寝が其々下で寝ている。各々が対策を取っていても不安の日々を送っている。職場の中で思っていることを声に出して「おかしなことはおかし」と言わないと改善されないと思う。正に労働組合の存在が重要だとつくづく実感しているところだ。

「組織拡大標語」の募集

氏名・分会名を記載し地本へ
FAX(鉄2934)又はEメール
kokurou-chiba4@castle.ocn.ne.jp
にて 9月20日までに送ってください。

合宿

昨日付でエルダーとなり、JR東日本高栗サーブिसのシャポー本八幡保安警備室に勤務し、早いもので1年が経過した。41年間の保線関係職場（2年間三島光産出向）しか知らない中で、経験したことのない保安警備に、慣れるまでは精神的・肉体的に疲れた。2ヵ月余りで7kg程痩せたが、職場の先輩たちに支えられてきた。3月からコロナ感染拡大防止策で、同じ人と泊まり勤務を組むパターンが半年以上続いている。しかし、1日の勤務者は泊まりが2名、長日勤が1名で、朝の点呼時は6名が8畳程の部屋に集まり、一定の間隔（2m）が取れない。寝室は4畳半程で2段ベッドが左右に2組あり、早寝と遅寝が其々下で寝ている。各々が対策を取っていても不安の日々を送っている。職場の中で思っていることを声に出して「おかしなことはおかし」と言わないと改善されないと思う。正に労働組合の存在が重要だとつくづく実感しているところだ。

粘り強く継続した活動を

再び戦争をさせない1000人委員会合同学習会

7月25日、千葉県教育会館において、再び戦争をさせない千葉県1000人委員会主催の合同学習交流会が開催された。

共同代表の広瀬理氏は「2〜3月頃から新型コロナウイルス感染拡大に伴い強力な自粛ムードの中で情報提供、共有化を図ってきたがやはり集まり議論の場をもつて意思統一することが必要と判断し感染予防に十分配慮して開催することとした」とあいさつした。

二人の講師を招き講演に入った。はじめに平和フォーラム共同代表の勝島一博氏から



「平和と人権を巡る情勢と課題」の講演を受けた。「安倍首相任期中の憲法改正を困難な状況に追い込んだとはいえ諦めてはいない。当面の取り組みとしては働く者の権利破壊を許さない、関西生コンを支援する会への支援をおこなう。コロナ禍で中断している集会・行動についても再開の際は協力をお願いする。」

津市議は「オスプレイ暫定配備を巡って」の講演。はじめに「オスプレイ」に関してクイズ形式で分かりやすく説明。現状、防衛省は「木更津基地オスプレイ暫定配備計画は変更しない」、木更津市は「暫定配備への協力をやめるつもりはない」との回答。しかし、イギリス・アショア計画が

破綻したように、諦めず、粘り強く活動を継続することが必要と話された。

津市議は「オスプレイ暫定配備を巡って」の講演。はじめに「オスプレイ」に関してクイズ形式で分かりやすく説明。現状、防衛省は「木更津基地オスプレイ暫定配備計画は変更しない」、木更津市は「暫定配備への協力をやめるつもりはない」との回答。しかし、イギリス・アショア計画が

破綻したように、諦めず、粘り強く活動を継続することが必要と話された。

津市議は「オスプレイ暫定配備を巡って」の講演。はじめに「オスプレイ」に関してクイズ形式で分かりやすく説明。現状、防衛省は「木更津基地オスプレイ暫定配備計画は変更しない」、木更津市は「暫定配備への協力をやめるつもりはない」との回答。しかし、イギリス・アショア計画が

破綻したように、諦めず、粘り強く活動を継続することが必要と話された。

津市議は「オスプレイ暫定配備を巡って」の講演。はじめに「オスプレイ」に関してクイズ形式で分かりやすく説明。現状、防衛省は「木更津基地オスプレイ暫定配備計画は変更しない」、木更津市は「暫定配備への協力をやめるつもりはない」との回答。しかし、イギリス・アショア計画が

破綻したように、諦めず、粘り強く活動を継続することが必要と話された。

津市議は「オスプレイ暫定配備を巡って」の講演。はじめに「オスプレイ」に関してクイズ形式で分かりやすく説明。現状、防衛省は「木更津基地オスプレイ暫定配備計画は変更しない」、木更津市は「暫定配備への協力をやめるつもりはない」との回答。しかし、イギリス・アショア計画が

破綻したように、諦めず、粘り強く活動を継続することが必要と話された。

津市議は「オスプレイ暫定配備を巡って」の講演。はじめに「オスプレイ」に関してクイズ形式で分かりやすく説明。現状、防衛省は「木更津基地オスプレイ暫定配備計画は変更しない」、木更津市は「暫定配備への協力をやめるつもりはない」との回答。しかし、イギリス・アショア計画が

破綻したように、諦めず、粘り強く活動を継続することが必要と話された。

職場集会

津田沼分会

8月5日 分会の全体集会在地本会議室で開催された。

津田沼分会は津田沼駅から下総中山駅までの範囲。現在13名の組合員で現職は4名。

JESSは社員や旅客の感染症や熱中症予防に配慮していない。着帽の強要だけでなく、コロナ禍で研修中止になった高卒プロパー社員は教育・訓練不足のまま一本になるが、粗まされる相方の負担が増えるのは明白。異常時対応や遺失物、JRとの起床・営業開始確認報告のやり取りも偽装臭い。習志野運輸区

構内では線閉作業が行われている中、実車訓練で車両を移動させる悪質な違反行為が発生、ただちに嚴重抗議した。

集まって議論すること、お互いの表情が見えることは大切である。職場集会在毎月開催したいが今日の状況を踏まえて2ヵ月に1回、分会旅行も行なうことを確認し合った。

◆管区長から希望があれば教えてと言われるが、今更新たな職場で働けるか心配 ◆車掌からエルダー出向したが、亀戸東口だから何とかやれた。65歳まで働き続けられるのか心配だ。

◆プロパー社員への締め付けが増加「サービスマン」で高い評価を受けるために何か必要かを考える」と言われる。

アスベスト健康被害・健康管理手帳取得の取組み⑩

8、国労としての課題 ② (最終回)

②アスベスト被害の実態の把握
石綿健康管理手帳取得運動により、様々な職場でアスベストが使用されていることが分かっているが、まだまだ掘り起こされていない職場がある。

また長野総合車両センターで石綿飛散事故が起り、長野労基署による監督署立ち入り調査があり、各所で石綿部品が残っていたという話を聞くが、組合組織内にも情報の共有がなされていない。

かつて石綿は様々な職種によって使われていたので、まだ身近な存在であることを忘れてはならない。車両や建物のどの部分に使われ、どのような処理がなされたのか、また、それぞれのデータを保管出来ないだろうか。

現退一致で取り組める課題でもある。一人でも多くの被害を漏らさないように隅々まで救済していく必要がある。 end

両国分会

8月14日、地本会議室にて職場集會を開催した。

来年3月末に両国駅東口と亀戸駅東口の無人化が提案され、配転先など不安の声が多い。

◆管区長から希望があれば教えてと言われるが、今更新たな職場で働けるか心配 ◆車掌からエルダー出向したが、亀戸東口だから何とかやれた。65歳まで働き続けられるのか心配だ。

◆プロパー社員への締め付けが増加「サービスマン」で高い評価を受けるために何か必要かを考える」と言われる。

◆東松戸駅に導入される「ソフトダイヤ(作業ダイヤの棒線化)」について、作業環境の悪化につながると反対の声が上がっている。

◆着帽を強要されるが「コロナウイルス感染防止」でマスクも着けていて、接客業として